国家資本主義の再設計：第8回日本成長戦略会議の深層

単年度の「コストカット」から、複数年コミットメントの「投資・成長型」システムへの構造転換

2026年10月1日　首相官邸・審議動向と政策的インプリケーション



Gemini Notebook

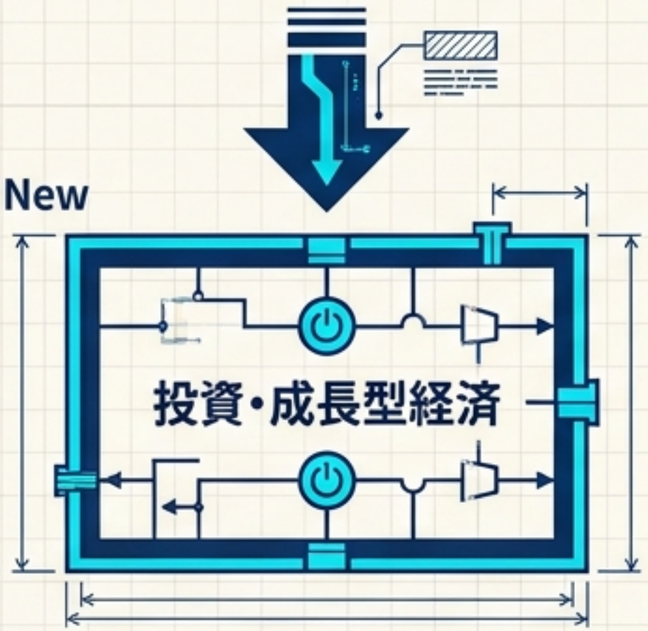
システムの転換：「責任ある積極財政」の3つのシフト

経済パラダイム

Old

デフレ・コストカット型経済

New



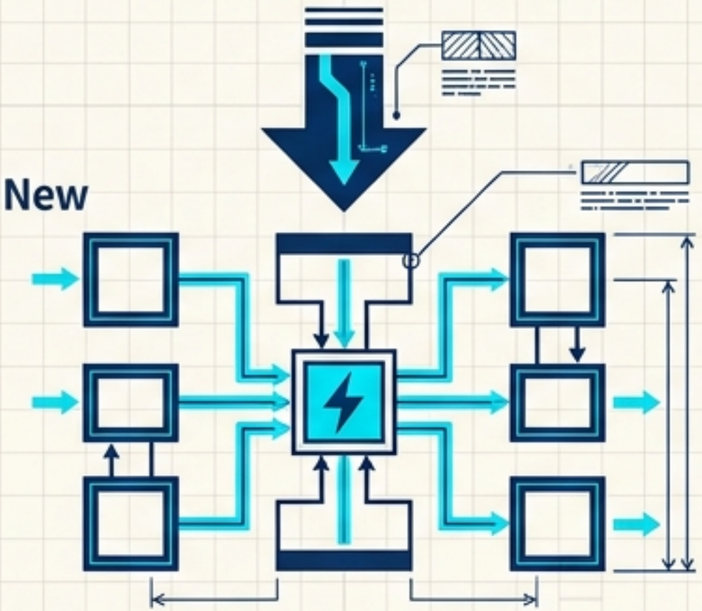
官民累計370兆円超の投資、
国内民間設備投資250兆円目標。

財政メカニズム

Old

単年度予算主義

New



『「強く豊かな日本」投資枠』
特別会計

政策的リスク

Old

資金の枯渇

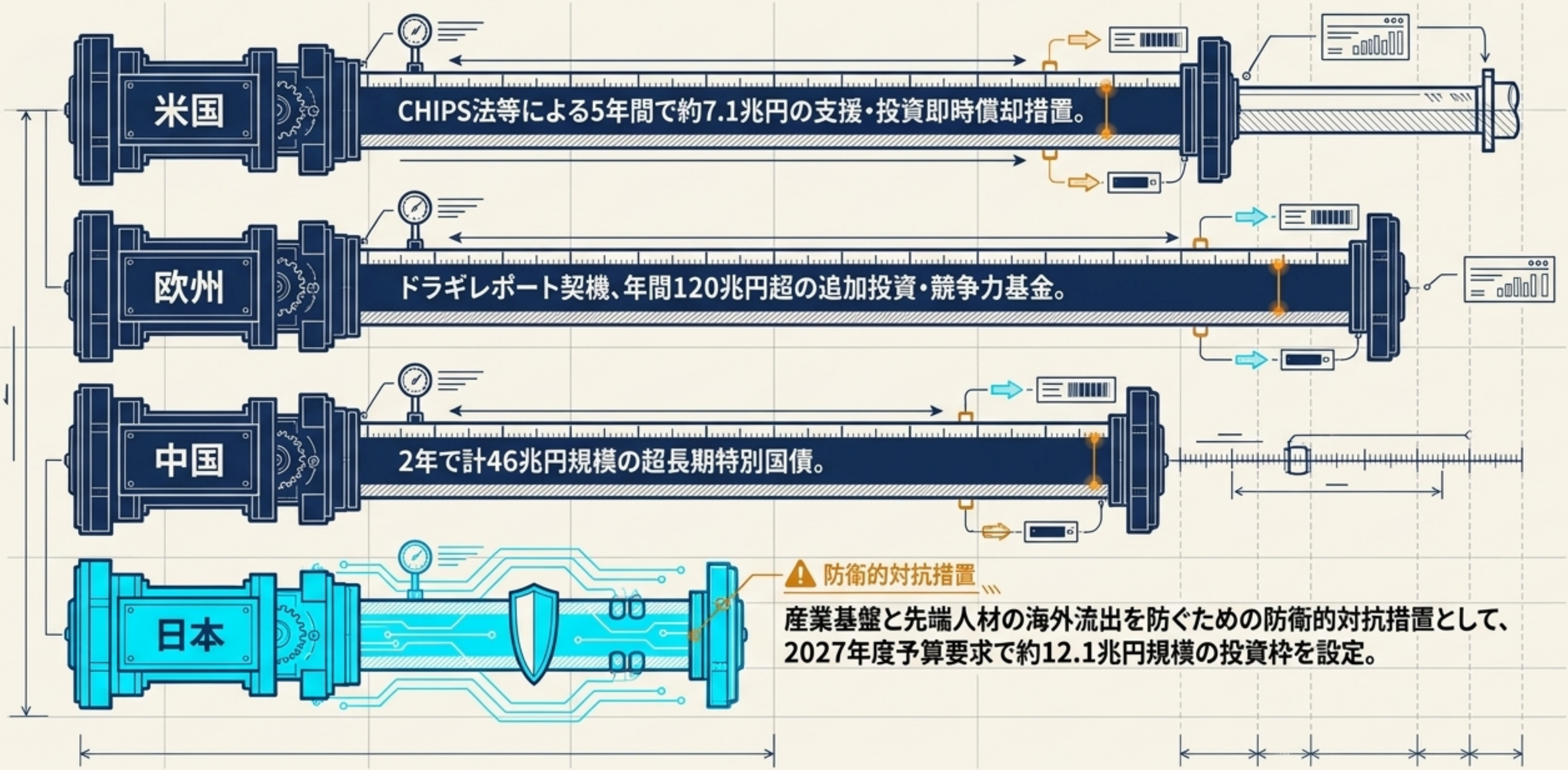
New



物理的供給制約
（労働力・電力）

Gemini Notebook

世界的な公的資金投入競争：なぜ今、巨額投資が必要か

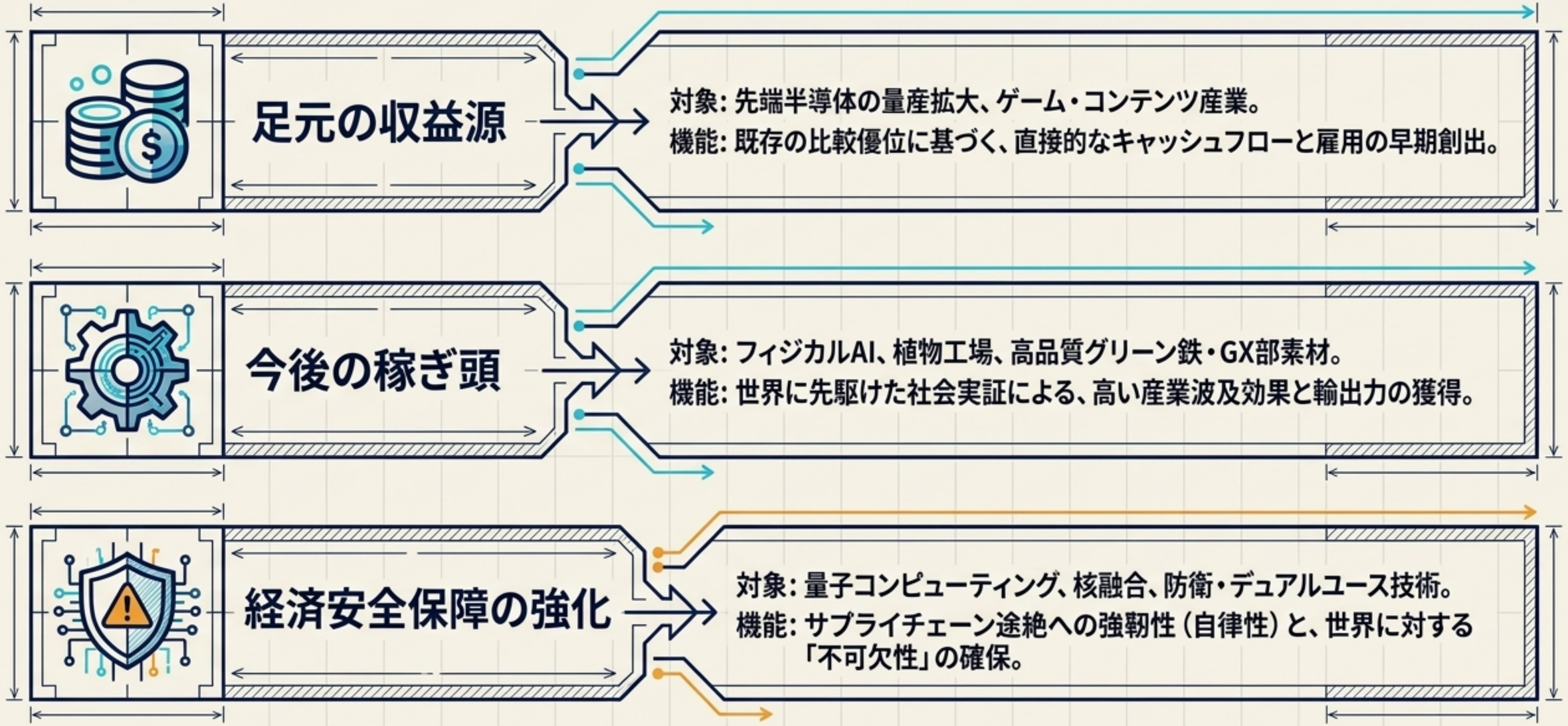


⚠ 防衛的対抗措置

産業基盤と先端人材の海外流出を防ぐための防衛的対抗措置として、2027年度予算要求で約12.1兆円規模の投資枠を設定。

Gemini Notebook

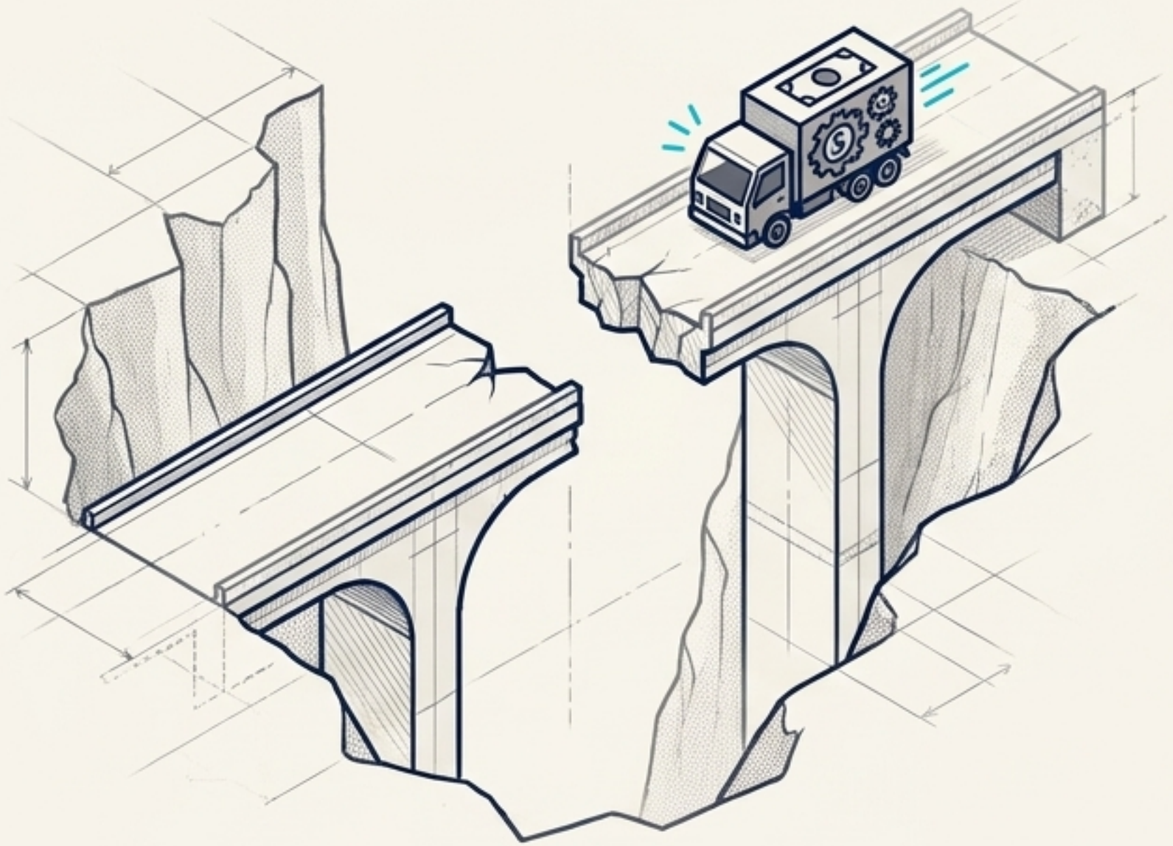
戦略的ポートフォリオ：17分野の「勝ち筋」と時間軸



Gemini Notebook

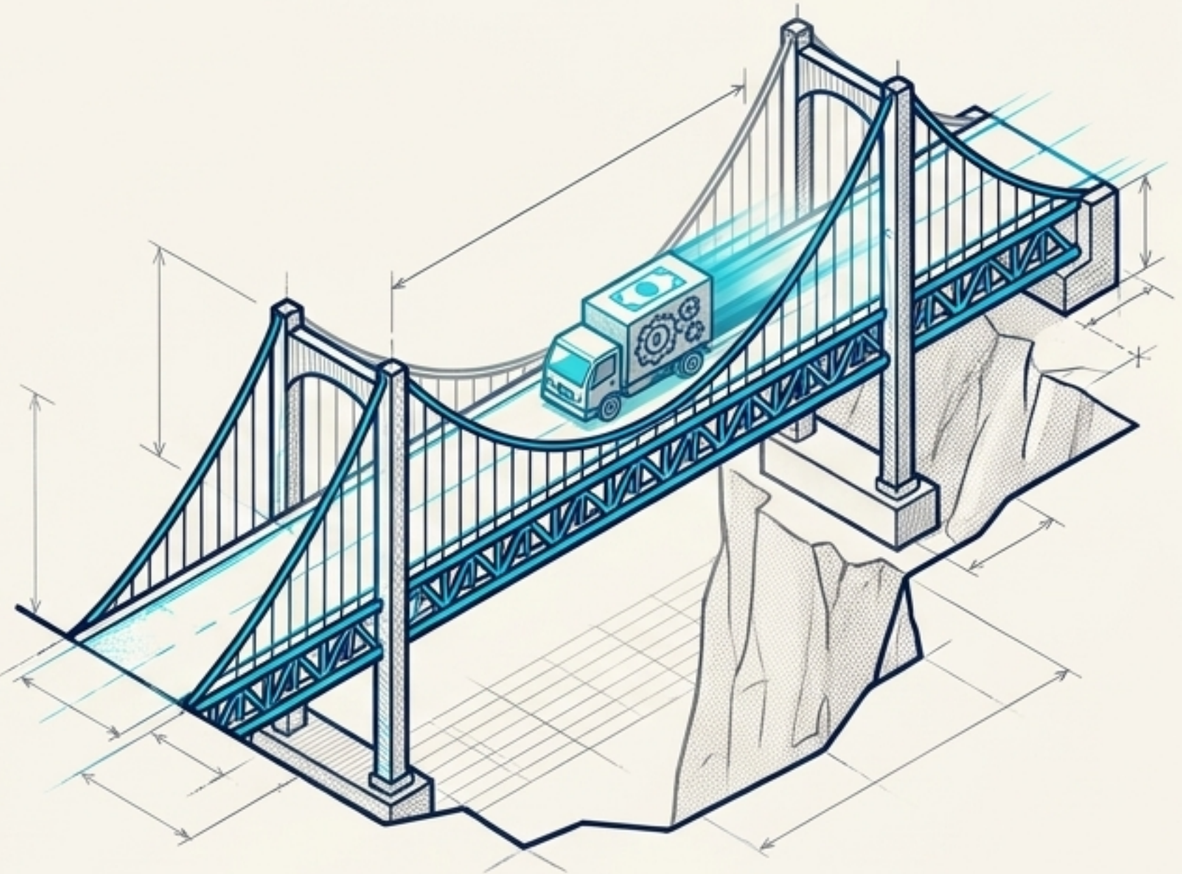
財政エンジンの再構築：予見可能性が民間資本の「呼び水」となる

単年度予算の壁



数十兆円・10年単位のコミットメントが不可能。
企業の投資決断を阻害。

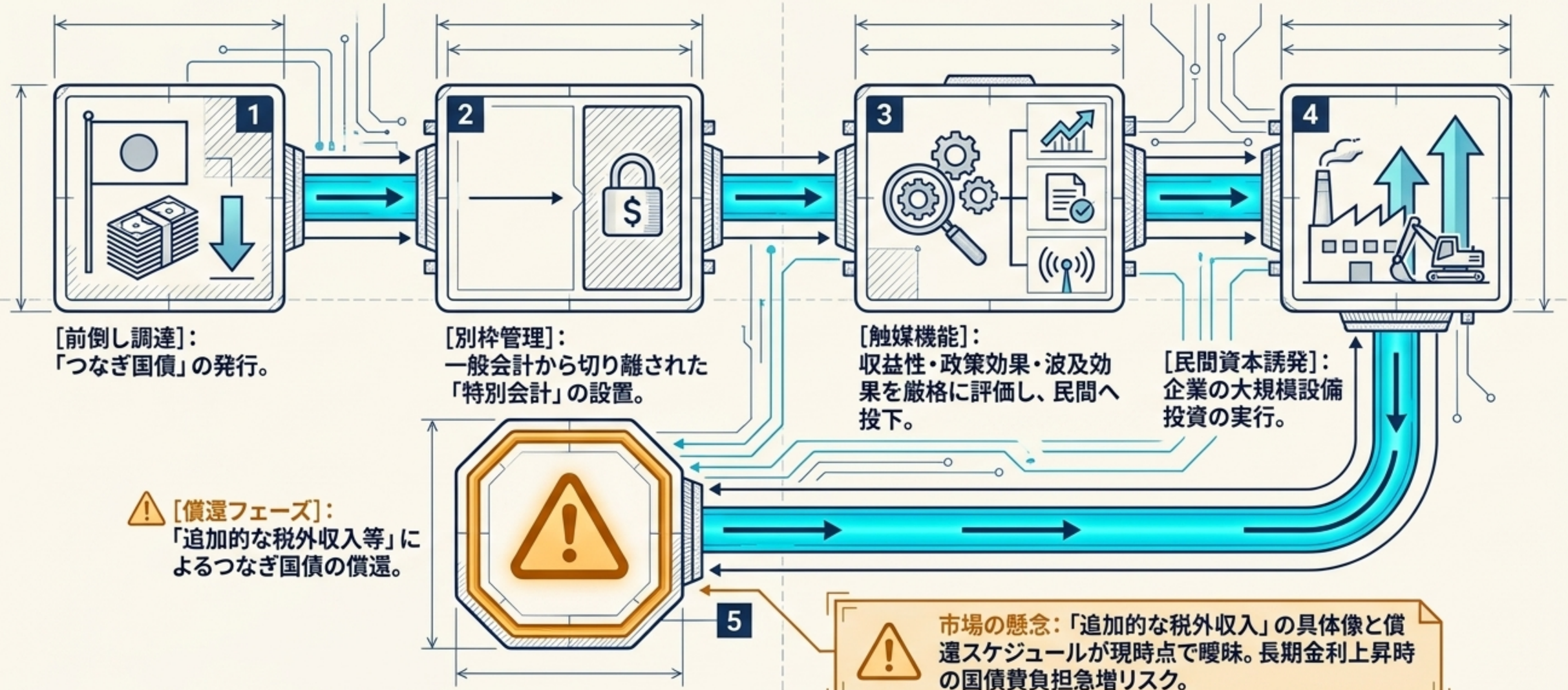
「強く豊かな日本」投資枠



集中投資期間（5年間）。政府が腰を据えて複数年度の財政支出を確約し、巨額の民間設備投資の触媒となる。

Gemini Notebook

特別会計スキームの解剖：資金循環と内在するリスク



[前倒し調達]：
「つなぎ国債」の発行。

[別枠管理]：
一般会計から切り離された「特別会計」の設置。

[触媒機能]：
収益性・政策効果・波及効果を厳格に評価し、民間へ投下。

[民間資本誘発]：
企業の大規模設備投資の実行。

⚠ [償還フェーズ]：
「追加的な税外収入等」によるつなぎ国債の償還。

⚠ 市場の懸念：「追加的な税外収入」の具体像と償還スケジュールが現時点で曖昧。長期金利上昇時の国債費負担急増リスク。

Gemini Notebook

ストレステスト：成長投資を阻害する4大物理的・制度的制約

労働力

建設分野の技術者・技能者逼迫。工場建設の遅延と費用高騰。（尾崎官房副長官主導で横断協議体設置）

電力

データセンター急増に対する送電網の容量不足と系統接続遅延。

デジタル/AI

AGI早期到来を見据えた社会実装と産業構造転換（AX）の遅れ。（年内にアクションプラン策定）

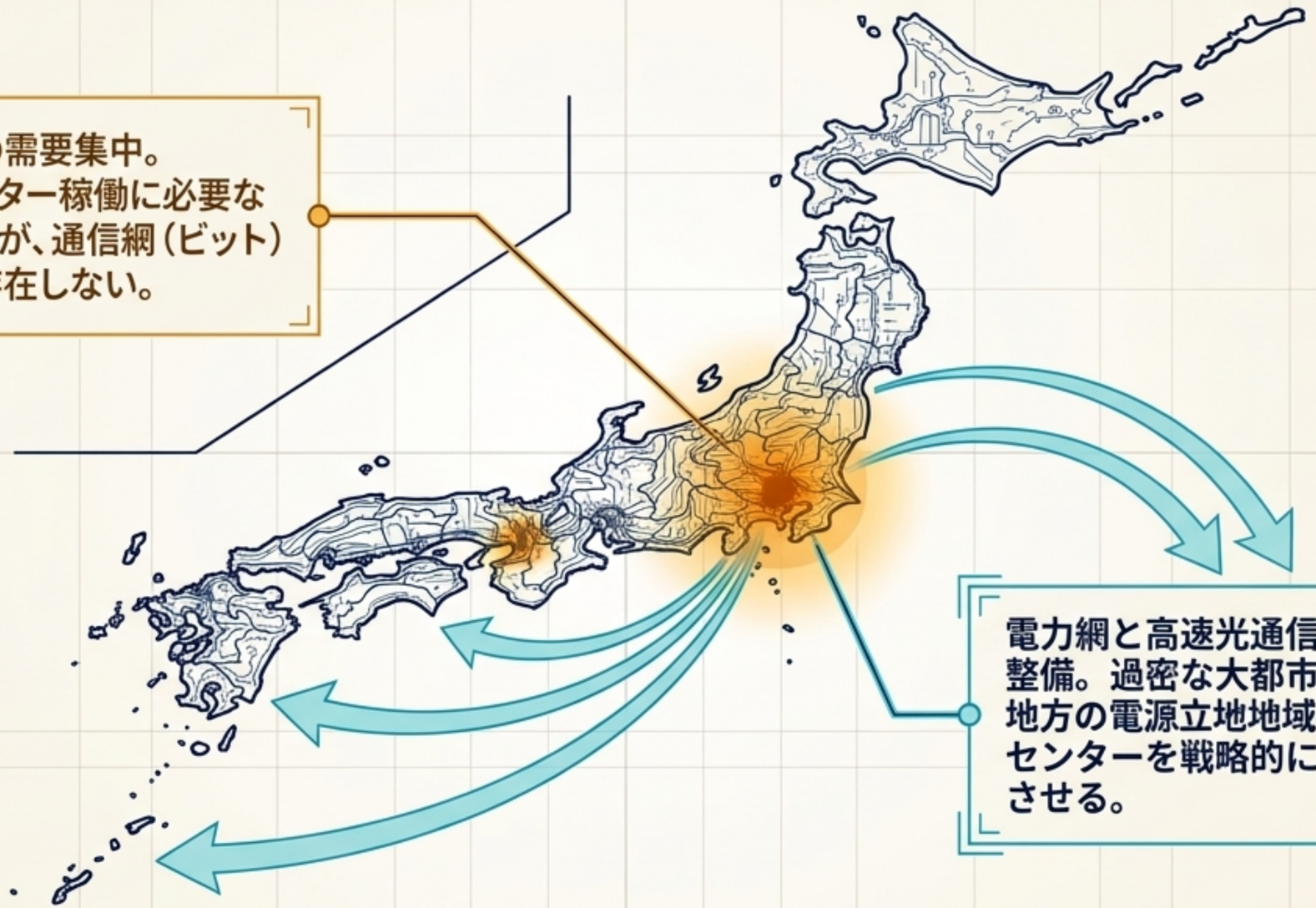
ガバナンス

「政府の失敗」を防ぐ厳格な撤退基準と、政務三役による費用対効果の直接管理の必要性。

Gemini Notebook

「ワットとビット」のジレンマ：データセンター立地の戦略的分散

大都市圏への需要集中。
AIデータセンター稼働に必要な
電力（ワット）が、通信網（ビット）
の密集地に存在しない。

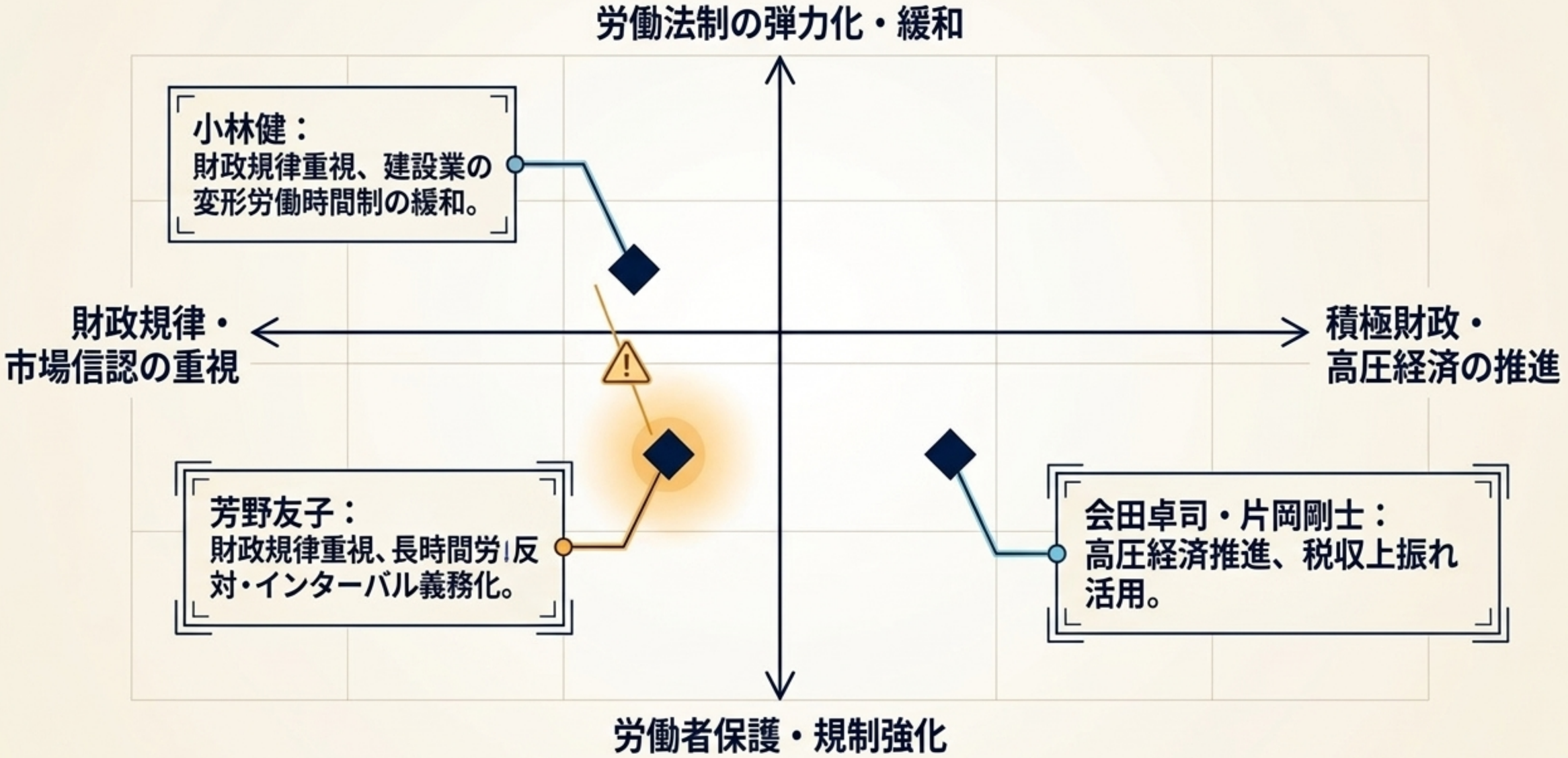


電力網と高速光通信網の一体
整備。過密な大都市圏から
地方の電源立地地域へとデータ
センターを戦略的に誘導・分散
させる。

遠藤委員の提言 - サステナブルファイナンスの適用とインフラ制約の打破。竹内委員 - 中韓に劣後しない産業用電気料金の確保。

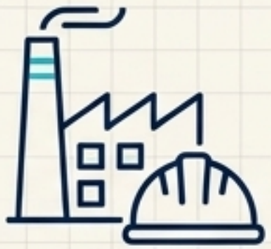
Gemini Notebook

思想の分断：民間有識者委員における構造的対立軸



Gemini Notebook

労働供給制約を巡る激突：プロジェクト完遂 vs 人的資本の保全



経営側（日本商工会議所・小林委員）

主張: 1年単位の変形労働時間制における事後的な計画変更や要件短縮。

ロジック: 労働時間法制を弾力化しなければ、目前の半導体工場やインフラ建設が止まり、国家戦略が頓挫する。





労働側（連合・芳野委員）

主張: 裁量労働制の拡大反対、勤務間インターバル制度の義務化。

ロジック: 安易な規制緩和は長時間労働を常態化させ、結果的に中長期の担い手不足をさらに悪化させる（労働力供給の破壊）。

Gemini Notebook

市場の審判：予見可能性への評価と膨張するマクロリスク

肯定と評価



政策スピードとコミットメント：

回収に10年以上要する超大型投資（半導体・原発等）に対し、民間側のリスク許容度を劇的に改善改善させる「実効策」。

懸念と警戒



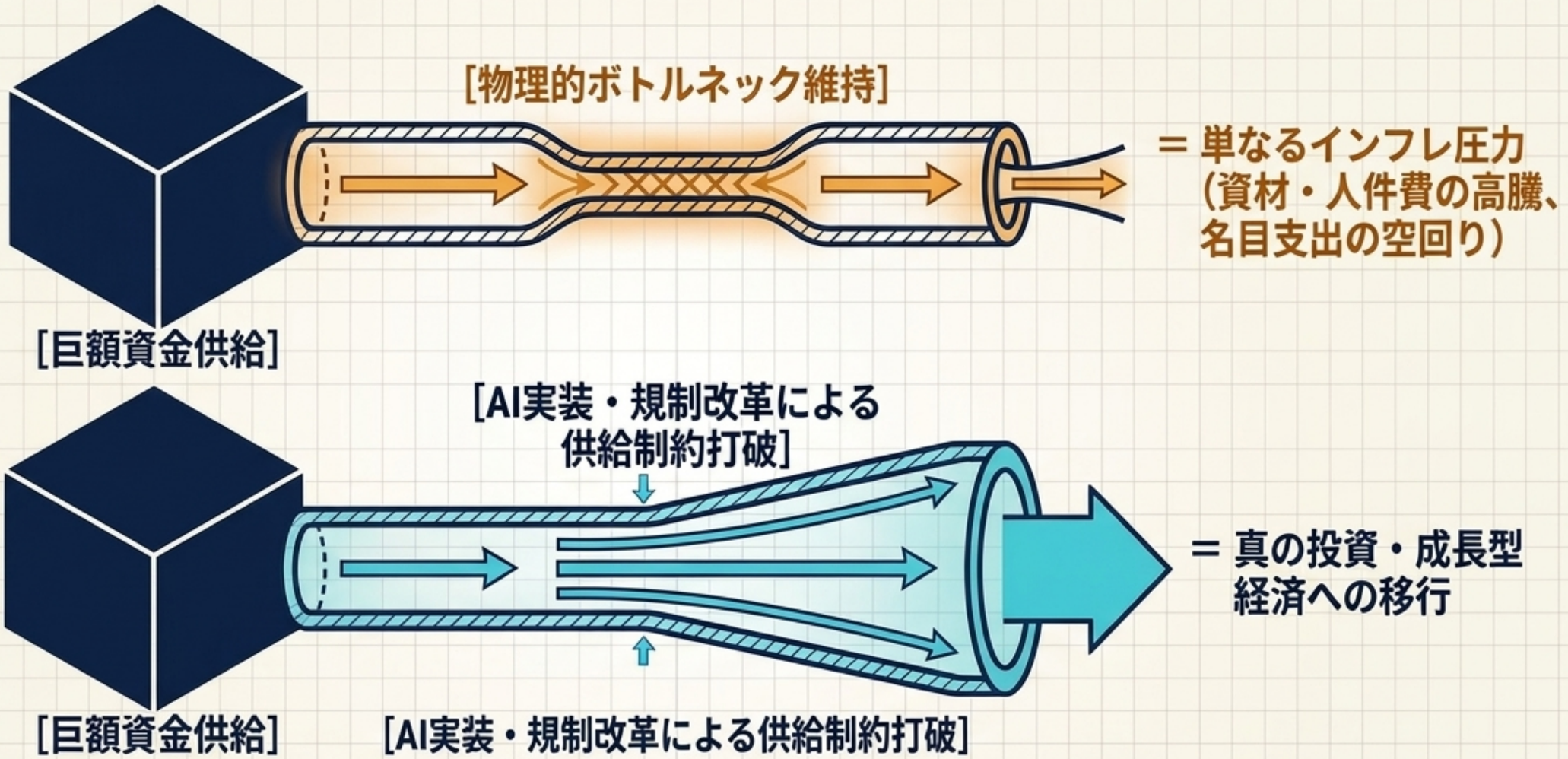
「財政の抜け道」化：特別会計による一般会計からの切り離しが、無規律な予算膨張を招く。

日銀利上げとの衝突：金融政策正常化局面における、つなぎ国債の発行と長期金利上昇圧力の連鎖。

名目支出の空回り：供給制約が放置されたまま資金だけが投下されれば、資材費と人件費だけが高騰する。

Gemini Notebook

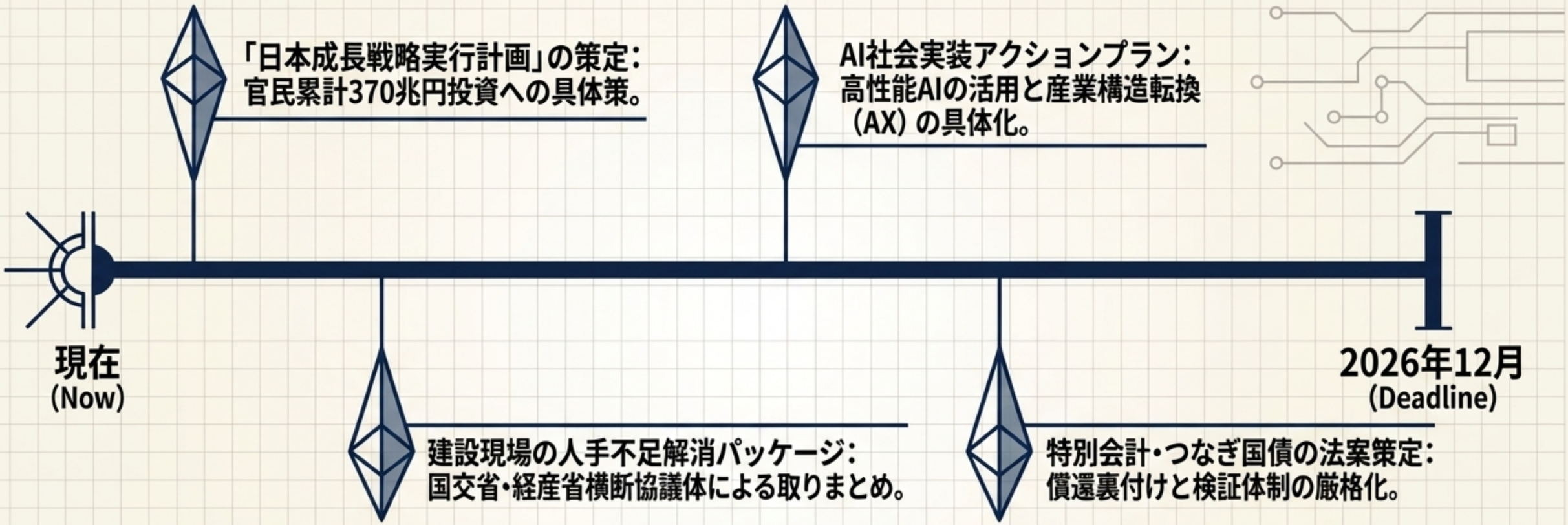
成長のパラドックス：資本の投下量ではなく、供給制約の解消速度が勝敗を決める



「特別会計の規模」ではなく、資金投下と同時に「物理的な隘路を着実に解消」できるか。
実行のシーケンス（順序）が全てを決定する。

Gemini Notebook

今後のロードマップ：2026年末に向けた90日間の制度設計



**高市政権の経済的レガシーは、予算の規模ではなく、
この90日間で行われる精緻な制度設計にかかっている。**

Gemini Notebook